

校庭の梅の花も満開となり、日増しに春の兆しを感じられる季節となりました。

本日ここに、大阪府立四條畷高等学校 第七八回卒業証書授与式を挙行いたしましたところ、公私ともにお忙しい中、四條畷市長 銭谷翔（ぜにや しょう）様、四條畷市立中学校の校長先生方、本校学校運営協議会、並びに歴代校長先生をはじめ、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、高いところからではございますが、厚くお礼を申し上げます。

また本校同窓会である楠葉会、並びに後援会組織の楠陽会、また本校PTA役員の皆様方には、部活動や学校行事をはじめとする本校生の様々な活動に対し、多大なるご支援とご尽力をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。

さて、保護者の皆さま、本日はまことにおめでとうございませう。皆さまには、入学以来本日まで、本校の教育に多くのご理解とご協力をいただきました。お子様は、本校での三年間の高校生活を通じて、このように立派に、また逞しく成長されました。お子様を支え、時には喜び、時には心配され、ここまで育ててこられたことに、敬意を表しますとともに、心よりお祝い申し上げます。

さて七八期生の皆さん、あらためて卒業おめでとうございませう。今、皆さんの心のうちには、様々な思い出が去来していることであろう。日々の授業や探究チャレンジでの活動、そして部活動、また畷高祭や体育祭、台湾での修学旅行などいろいろなことが浮かんでいることかと思ひます。そのいずれの場面においても、皆さんは全力で取組み、何事にも一生懸命に努力されてきました。その自らの可能性に挑戦する姿は、いつも輝いていました。さすが畷高生でした。

さて、今日は皆さんの旅立ちにあたり、一つの言葉を紹介したいと思います。

それは仏教を開いたとされるブッダの「犀のようにただ独り歩め。」という言葉です。この言葉は「犀の角のようにただ独り歩め。」とも言われます。

動物のサイは世界に五種類生息しているそうですが、ブッダが示したのはインドサイと考えられています。みなさんも動物園などでサイを見たことがあると思いますが、一本の角を持つ大きな草食動物で、野生においては単独で行動するそうです。なぜ草食動物なのに群れをなすことなく生きていくことができるのかということ、サイは皮膚が分厚くて硬く、鎧のような役割を果たしているため、肉食獣の爪や牙が容易に皮膚を通らないからだそうです。

「犀のようにただ独り歩め。」とは、群れることのないサイのように

「人間も一人で道を切り開いて歩みを進めなさい。」という意味です。この言葉は他の人と同調することなく、孤独に生きていくことを勧めています。確かに何かを成し遂げようとするならば、黙々と一人で没頭し、努力しなければならない時があります。また一人で決断し、責任を負わねばならない時があります。

私たちの日常を振り返ってみると、情報に溢れており、リアルな人間関係だけではなく、SNSなども含めて、他の人とのつながりを避けることができない時代であることがわかります。そして、つながりが断たれると人は何とも言えない不安を感じるものです。

いつの時代も、とくに複雑な現在社会において、何かを成し遂げ、目標に到達するためには、時には孤独に対して平然と立ち向かえるような、自律心が必要だと言えます。

一方で、先ほどのブツダの言葉には単に孤独を勧めるだけではなく、次のような文言が添えられています。

「学識ゆたかで真理をわきまえ、高邁・明敏な友と交われ。いろいろと為になることがらを知り、疑惑を去って、犀のようにただ独り歩め。」という言葉です。

この中の高邁とは、「志などがたかく、他の人々よりぬきんでていること」、明敏とは、「物事の要点や本質をすばやく悟ること」という意味です。

つまり、単に孤独であることが大切なのではなく、自分にとって学びの対象となるような志が高く、優れた人を友として関わるのはよい。そして優れた知性を有し、迷わずに生きていくことが重要というような意味になります。

皆さんはこれまでも、この躰高という恵まれた環境で素晴らしい友と出会い、切磋琢磨されてきたことでしょう。そして、これから先の人生において、進学先やその先の実社会でさらに「高邁・明敏な友」と出会うことがあるかと思えます。その折々に、出会う仲間や人々により影響を受けることは大切です。

一方で、自らの信念を持ち、揺らぐことなく独立心や自立心を大切に生きていくことはもっと大切です。他人と自分を比べたり、他者からの評価を気にしたりするのではなく、自分にとって、本当に成し遂げたいことを人生の中で見つけ、ぶれることなく、自ら努力して実現させることが重要だということです。

これからの予測不可能で様々な情報にあふれる時代を生きるみなさんには、「高邁・明敏な友」に出会うとともに、ぜひ孤独との上手な付き合い方を知っていただきたいと思えます。

そして、この伝統ある躰高で学業を修められたことに誇りを持ち、皆さんが持っているその優れた能力と、これまでも、またこれからも獲得された知識や知性を、どうか自分のためだけでなく他の人に、また広く社会に対して発揮されることを願います。グローバルリーダーとして広い世界で大いに活躍ください。

結びに、皆さんの前途が幸多きものでありますことを心からお祈りし、私の式辞といたします。

令和八年三月二日

大阪府立四條躰高等学校

校長 平岡 香子